

2013-R116

2013年10月28日

(報道発表資料)

NTT コミュニケーションズ株式会社
Virtela Technology Services Incorporated

米国大手ネットワーク事業者 Virtela Technology Services の株式取得について

NTT コミュニケーションズ株式会社(略称：NTT Com) は、マネージドサービスや仮想化技術に強みを持ち、196 カ国/地域において MPLS/IPSEC VPN^{*1}を含むネットワークサービスやクラウド型マネージドネットワークサービスを提供している Virtela Technology Services Incorporated (本社：米国 コロラド州デンバー、略称：Virtela 社) の株式 100%を約 525 百万 US ドルで取得することについて、株主と基本合意に達し、2013 年 10 月 28 日に株式取得に関する契約を締結しました。

今後は、両社のオペレーション統合によるグローバル一元的なオペレーション体制の推進、サービス統合によるより高度なクラウド型マネージドネットワークサービスの提供、ネットワーク統合によるエリア拡大やスケーラブルな帯域確保などを通じて、グローバルネットワーク事業の一体的提供によるグローバル市場におけるリーダーポジションの獲得を目指します。

1. 背景・目的

NTT Com は、「Global Cloud Vision」のもと、お客さまの ICT 環境のクラウド化を契機として、通信事業者ならではのグローバルトータル ICT アウトソーシングの提供を推進しています。その一環として、クラウドサービスを支えるネットワークサービスとして、これまでも企業向けの高品質・高信頼な VPN サービス「Arcstar Universal One」や、お客さま拠点～データセンター間、クラウド～クラウド間などの仮想ネットワークサービスを提供してきました。

今回の株式取得により、グローバルネットワーク事業の一体的提供の取り組みを、2014 年度より実施していきます。

まず、Virtela 社の充実したオペレーションツールを用いた顧客満足度の高いグローバル一元的なオペレーション体制を推進するなど、オペレーションの統合を図ります。これにより、お客さまへの迅速で柔軟なサービス提供や効率的な運営体制を目指します。

また、LAN のネットワーク機器（ファイアウォール、WAN 高速化装置など）の機能を仮想化する技術（NFV^{*2}）を活用したクラウド型マネージドネットワークサービスの拡充などを通じて、サービスの統合を図ります。これにより、お客さまは、サービス開始や機能拡張までのリードタイムの短縮、固定費の変動費化、自動化による人為故障の減少と稼働コストの削減などが可能となります。（別紙 1）

さらに、現在 160 カ国/地域において展開しているグローバルネットワークサービスの提供工

リアを 196 カ国/地域まで拡大するとともに、バックボーンの効率利用など、ネットワークの統合も図る予定です。これにより、世界各国で NTT Com の広帯域・高品質なネットワークサービスを快適に利用できる環境が整います。（別紙 2）

今後、NTT Com はクラウドサービスとともに、グローバルネットワークサービスの拡大・高度化を積極的に行うことで、お客さまへのグローバルトータル ICT アウトソーシングの提供をさらに強化し、グローバル ICT パートナーとしてお客さまの経営改革に貢献していきます。

2. 株式取得の概要

- (1) 予定取得比率：100%

3. Virtela 社の概要

- (1) 会社名 : Virtela Technology Services Incorporated
- (2) 所在地 : 5680 Greenwood Plaza Blvd. Greenwood Village, CO 80111
- (3) 設立年 : 2000 年
- (4) 代表者 : Ron Haigh (President)
- (5) 拠点 : 米国、インド、フィリピン
- (6) 事業概要 : 米国ネットワークサービス事業者
- (7) 従業員数 : 約 400 名
- (8) 顧客数 : 多国籍企業を中心に約 500 社

*1) MPLS/IPSEC VPN : MPLS や IPSEC 技術を用いた VPN。VPN とは、IP（インターネット・プロトコル）を利用したネットワーク上で、暗号化技術等によって構成される仮想的なプライベートネットワークのこと。MPLS は、キャリアによる閉域網上で VPN を提供する際に多く用いられるスイッチング技術。で、IPSEC は、インターネット上で VPN を提供する際に多く用いられるトンネリング技術。

*2) NFV : Network Function Virtualization の略。各種ネットワーク機器の機能を、データセンターやネットワーク拠点に設置したサーバ等に機能集約して提供するネットワーク仮想化技術の 1 つ。

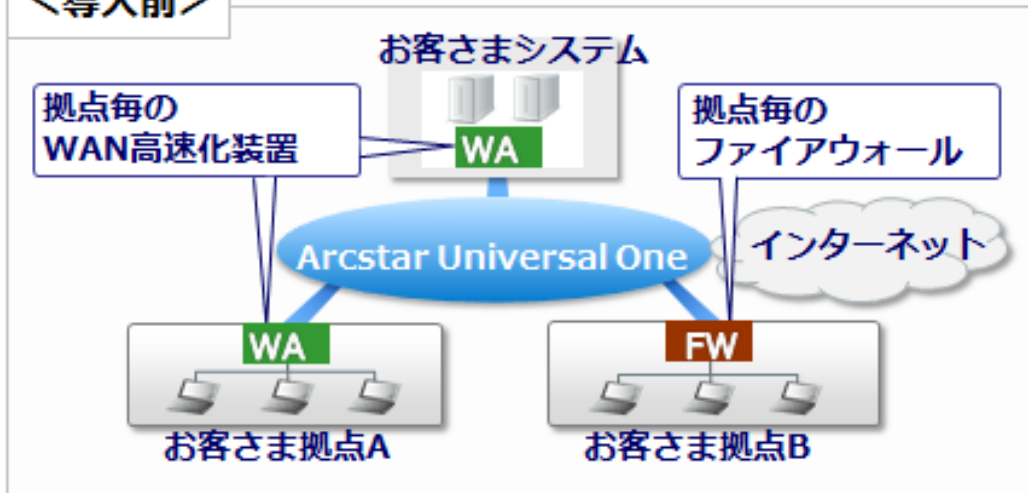
【別紙1】

ネットワーク機器の仮想化技術を活用

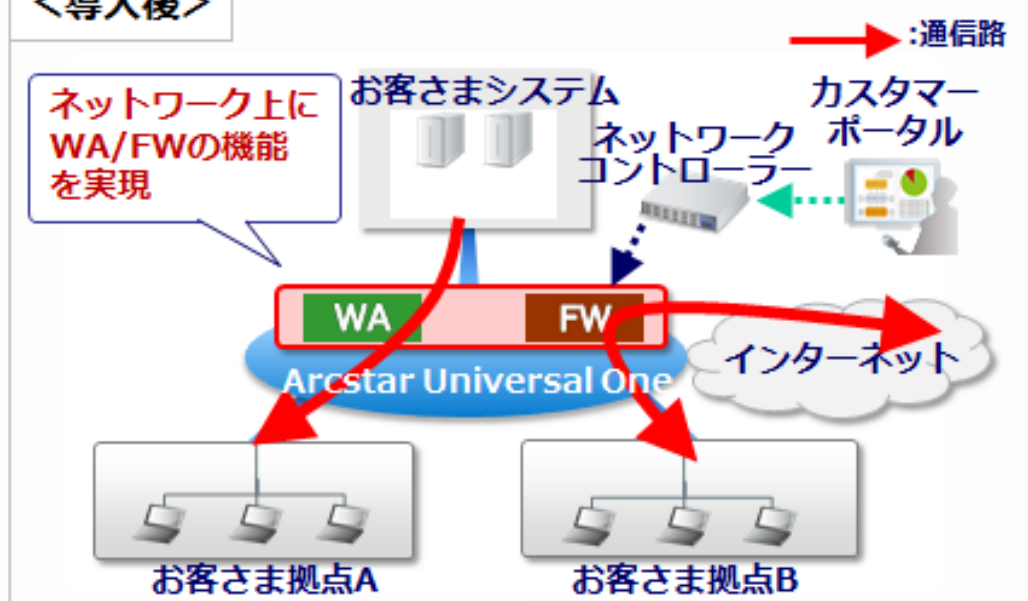
LANのネットワーク機器(ファイアウォール、WAN高速化装置など)の機能を仮想化する技術(NFV^{*1})を用いたクラウド型マネージドネットワークサービスの拡充

*1NFV : Network Functions Virtualization

<導入前>



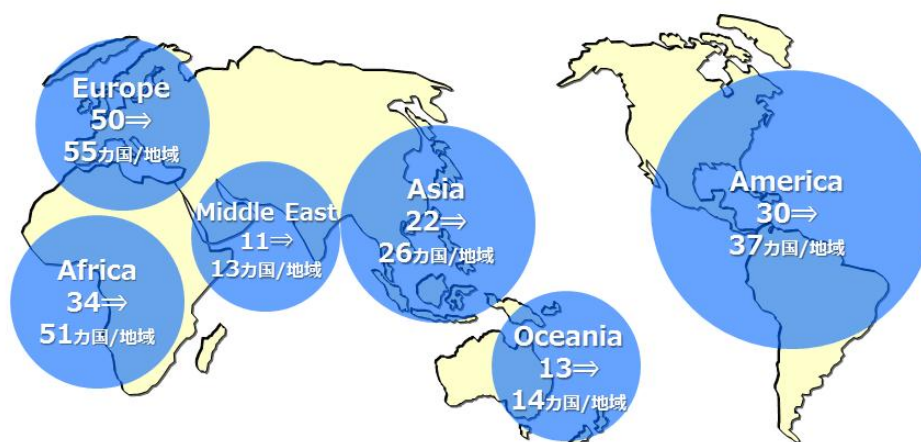
<導入後>



【別紙2】

グローバルネットワーク統合

- ・ 160カ国/地域⇒196カ国/地域へサービス提供エリアを拡大
- ・ バックボーンの効率的利用



SEAMLESS CLOUD FOR THE WORLD



Global ICT Partner
Innovative. Reliable. Seamless.